

平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校4年）

■分析と今後の指導上の工夫

・ 学校や家での学習

「勉強が好きか」という質問に対し、肯定割合を9割以上となっており、学習への意欲が高いが、授業の理解については不安を感じているという傾向が見られた。学習時間は平日は1時間くらい、休日も20分から1時間くらいは行っている。「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」という肯定割合は10割であった。学習したことを生かしたり、友達から刺激を受けたりして、自分の学習方法を工夫している様子も見られた。高い意欲を生かして学習成果が上がるよう、基礎的な内容の反復練習や個別指導を行いたい。

・ 毎日の生活

家族だけでなく、学校や地域の人へのあいさつは、肯定割合が高い。学校生活の満足度も高く、充実した生活を送っている様子が伺える。

読書に関しては、平日は30分程度読んでいるが、休日になると読まないという児童が増える。休日には3時間以上テレビやビデオなどを見ているという児童も増えることから、家庭とも連携して読書習慣をつけさせていく必要がある。

学校がある日の寝る時間については、5割程度の児童が午後10時ごろに寝ている。就寝時刻が決まっていない家庭も多く、家庭にも協力を求めたい。

自分自身のこと、友達のことについては肯定割合が高く、それらが学校生活への満足度につながっていると思われる。前向きな気持ちを大切に、家庭とも連携をして指導していきたい。

・ 携帯電話

携帯電話の所有率は昨年度より少なくなっている。家庭でのルールを決め、フィルタリングもしている家庭が多いが、継続して指導をしていく必要がある。

・ 体力や健康、食事、安全

運動への意欲は高く、進んで体を動かしている児童が多い。朝食は全員が食べてきているが、家の人と一緒に食べていない児童もあり、家庭との連携を図る必要がある。お箸の使い方などマナーに関しては今後も指導の工夫改善をしながら家庭にも呼びかけていきたい。

安全に関する意識も高い。しかし、日常生活を見ると、安易な判断で危険な状況になることもあり、体験的な学習を通して危険を見通して行動する能力を高めていく指導をしていきたい。